



やなぎしましょう 柳島小だより

令和4年 8月31日
茅ヶ崎市立柳島小学校
校長 赤池 理

学校教育目標

—21世紀を担う柳島小学校の子どもたち—

豊かな心をもち、**意欲的にたくましく生きる**子どもの**育成**

夏休みが終わり、学校に子どもたちの笑顔が戻ってきました。宿題や成果物を抱え、元気に登校してきた児童からは、「夏休み、楽しかった〜!」という充実感が感じ取れました。中には、「もっと休みが続いてほしかった!」という表情の児童もいます。でも、今日から前期後半が始まります。徐々に学校での生活リズムに戻していき、充実した日々を過ごしてほしいと思います。

さて、今年の夏も暑い日が続きました。昨年と比べて平均気温は7月が1℃、8月で0.5℃ほどの上昇になったそうです。合わせて、コロナの感染者の数も6月末ぐらゐから増え始め、とどまるところを知りません。今年の夏休みは行動制限がなかったので、遠くへ出かけた方もいらっしゃるかと思いますが、体調管理のほうは上手にできたでしょうか。引き続き感染症・熱中症予防を意識していきたいと思ひます。



あいさつをしましょう!

7月に児童会委員会が動画を作って、あいさつの大切さについて全校児童に訴えてくれました。動画の中では「あいさつは皆さんを元気にしてくれる魔法の言葉なのです!」と紹介していますが、あいさつは自分が気持ちよくなるだけでなく、してもらった人も温かい気持ちになれます。同時に、周りの人々に支えられて自分がいるということに感謝の気持ちを持つこともできます。ほんの小さな一言かもしれませんが、勇気を出して口にすれば、とても大きなものとなって自分に必ず返ってくるものです。引き続き学校では、家族、地域の方々、友だちや先生方に、自然とあいさつができる児童の育成に努めていきたいと思ひます。



情報モラル教育について

日ごろの教育活動にiPadがあたりまえのように活用され早1年。技能における児童の吸収力の速さには驚くばかりです。学校ではあわせて、情報発信による他人や社会への影響について考えさせる学習活動、ネットワーク上のルールやマナーを守ることの意味について考えさせる学習活動、情報には自他の権利があることを考えさせる学習活動、健康を害するような行動について考えさせる学習活動などを通じて、情報モラルを確実に身に付けさせるように指導していきたいと思ひます。

